

## 令和8年度 事業計画

### 基本方針

シルバー会員の現状は、会員数及び就業延べ人数は年々減少しています。

また、高齢者の中には、退職後の就業に意欲的な人がいる一方で、経済的な理由により働く必要の無いなどの理由から、必ずしも就業に意欲的でない方も多くみられます。引き続き、会員拡大を核に据えて、女性会員の拡大や企業退職者層への働きかけを進めて、努力してまいります。

さて、国は、「シルバー会員」も含めた個人が事業者として受託した業務を安定的に従事できる環境を整備するため、いわゆる「フリーランス新法」を令和6年11月1日に施行し、新法の趣旨を踏まえて、契約方法の見直しをスタートさせております。

当センターでは、令和8年4月1日に新契約方法に移行します。事業所や会員の皆様への周知をし、事務効率化のデジタル化を推進し、新しい時代の事業運営に取り組んでまいります。

このような中で、会員の皆さんに共通して大切なことは「仕事を仲間と分かち合って仲良く就業すること」と「安全の確保は最優先の課題である」と言えます。

結びに、会員皆様のご協力及び県連合会・津幡町をはじめ関係機関並びに地域の皆様や地元企業・団体等のご理解とご協力をいただきながら下記の事業に取り組んでまいります。

### 事業実施計画

#### (1) 就業機会の確保と開拓

- ① 中期計画により定めた計画目標値について PDCA サイクル進捗管理により事業実績の向上を図る。
- ② 就業開拓委員会を中心に、シルバー事業の普及啓発活動や官公庁・企業・関係団体等への訪問活動を展開し、事業の周知と就業先の開拓及び就業体制の整備等を図る。
- ③ 利用者へのハガキによる予約制を活用する。
- ④ シルバー人材センターガイドラインによる適正な事業運営を確保する。
- ⑤ ローテーション就業やワークシェアリングの推進による就業確保を図る。
- ⑥ 就業機会提供による講習会を実施する。
- ⑦ シルバー人材センター自らが就業機会を創出し、高齢者の多様なニーズに応じた就業機会の拡大に努める。

#### (2) 会員の入会促進

- ① 高齢者人口の割合等からみて、拡大の余地が大きい女性会員の確保に重点的に取り組む。
- ② 入会希望者に対して定例の入会説明会を開催し、シルバーの仕組みの他、就労動画を紹介する。
- ③ 会員一人が一人を紹介する運動を実施し、健康で働く意欲のある会員を確保し、活性化を推進する。
- ④ ハローワークにおいて、シルバー出張相談会を継続する。

### (3) 安全・適正就業の徹底

- ① 安全・適正就業委員会を中心に、「安全・適正就業事業計画」に基づき、就業現場のチェックと就業中のパトロールを実施し、会員の事故防止と健康管理の徹底を図り、特に刈払い機の石飛び防止に努める。
- ② 就業時における草刈用防護柵の利用、また安全ベルト・ヘルメット等の安全保護具着用、事故事例等を「他人ごと」ではなく「自らのこと」として共有し、安全意識の徹底とその高揚を図る。
- ③ 会員自らが身体機能を把握・確認し、健康維持に努めるとともに、健康診断や日常的な健康管理を徹底し事故の根絶に努める。
- ④ 会員が健康で安心して働くことができる職場環境づくりや雇用形態の改善を推進し安全適正な就業環境実現に努める。
- ⑤ 高齢運転者等に係るガイドライン「シルバー人材センターにおける安全な運転のために」の活用や、安全運転適性検査や交通安全研修会等を行い、交通事故の防止を図る。
- ⑥ 機関紙「シルバーだより」の年2回発行により安全意識の高揚を行う。

### (4) 普及啓発活動の推進

- ① シルバー事業活動の周知と会員確保を図るため、津幡町の広報誌に掲載する。
- ② ボランティアや町・地元の各種イベントに積極的に参加し、シルバー事業の広報活動を実施する。
- ③ ホームページ・報道機関の活用により、広く町民へ情報提供をする。

### (5) 職業紹介事業

- ① 多様な働き方を希望する高齢者に対して、臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他軽易な業務に係る就業を斡旋する。

### (6) 労働者派遣事業

- ① 多様な働き方を希望する高齢者に対して、派遣法に基づき実施する。
- ② 労働者派遣事業の推進に努める。

### (7) 連合会事業への参加・協力

- ① 職員研修等に積極的に参加し、資質・能力向上に努める。

## 津幡町文化スポーツ交流館「レススル」事業計画

当館は、津幡町の施設であり、津幡町シルバー人材センターが指定管理を受け、貸館事業や維持管理など全体運営を行っています。

町では、令和7年4月1日から施設の名称を「文化スポーツ交流館」に改め愛称を「レススル」に決めました。

英語の「レススル」には、「レスリングをする」のほか、「努力する」「挑戦する」などの意味があります。文化・スポーツ両面で町民の幅広い年齢層の方に安心・安全にご利用いただけるよう管理運営に取り組んでまいります。